≪報道関係者各位≫

2026年11月吉日
広島県教科用図書販売株式会社

次期学習指導要領を見据えた新シリーズ
「情報技術の仕組み」を『事例で学ぶNetモラル』に追加

～「二次元コードの特性」を用いた授業実践を、第52回全日本教育工学研究協議会全国大会で発表～

≪トピックス≫

- 次期学習指導要領に向け、特性の理解を通じて適切な取扱いを促す新シリーズを追加
- 指導案付きのアニメ教材でスムーズな授業展開が可能。「二次元コードの特性」「Exif情報」の2事例を開発
- 授業実践の事後アンケートでは、72.7%の生徒が「自分ごととして考えられた」と回答

広教（正式名称：広島県教科用図書販売株式会社、本社：広島県尾道市、代表取締役社長：手塚雄三）は、「事例で学ぶNetモラル」に、情報活用能力の構成要素の1つである「情報技術の特性の理解」に焦点を当てた新シリーズ「情報技術の仕組み」を追加しました。

さらに、同シリーズの事例「二次元コードの特性」を用いた授業実践とその成果が、「第52回全日本教育工学研究協議会全国大会」で発表されました。

1．新シリーズ「情報技術の仕組み」について

次期学習指導要領でも重視される「情報技術の特性の理解」については、小・中学生向けにどう授業を行うかという具体的な教材や指導法の充実が求められます。

広教では、宮城教育大学の板垣翔大准教授を代表に、3名（※1）の監修者のもと、「情報技術の仕組み」シリーズの事例の開発に取り組んでいます。

〈教材の特徴と構成〉

本教材は、「ストーリーパート」と「解説パート」の2部構成となっています。まずストーリーパートでは、情報技術の恩恵を受けている一方で、起こりうる身近なトラブルをアニメーションで描きます。次に「テクノロジーで読み解こう」のコーナー（解説パート）では、博士キャラクターが情報技術の仕組みや特性をもとに、トラブルの防ぎ方をわかりやすく説明します。専門知識の有無にかかわらず、教職員がスムーズに授業を展開でき、児童生徒にとって理解しやすい設計となっています。

〈収録事例と今後の展開〉

現在は「二次元コードの特性」「Exif情報 ―写真に隠れたデータ―」の2事例を製品に収録しています。今後は、生成AIやフィルターバブルなど、情報技術の仕組みに基づく事例を順次追加して

いきます。





（※1）宮城教育大学 教科教育学域（技術科教育）准教授　板垣 翔大
Bellevue Children's Academy Curriculum Director　金 俊次
広島工業大学 情報学部 情報システム学科 教授　安藤 明伸

2.『第**52**回全日本教育工学研究協議会全国大会』での発表

2026年10月31日に高知工科大学（香美キャンパス）で実施された『第52回全日本教育工学研究協議会全国大会』において、宮城教育大学附属中学校の清水賢教諭が、「二次元コードの特性」を用いた中学1年生向けの授業実践とその成果を発表しました。

授業では、生徒が二次元コードの利便性や意図しないサイトへ誘導されるリスクを疑似体験した後、教材のストーリーパートを視聴しました。続いて、学校祭のポスターに含まれる偽の二次元コードを見分ける課題に取り組み、URLの確認などを通して、生徒自らが見つけた判断の手掛かりをクラス全体で共有しました。最後に解説パートを視聴し、二次元コードの仕組みやリスクの回避方法を学びました。

事後アンケートでは、72.7%の生徒が「動画視聴により自分ごととして考えられた」「情報技術の仕組みを知ることは役に立つ」と回答するなど、本事例の活用が学習効果の向上につながることが示唆されました。

≪『事例で学ぶ**Net**モラル』について≫

児童生徒が情報社会で適正な活動を行うための考え方や態度（情報モラル）と、情報活用能力を育成する小・中・高等学校向けのデジタル教材です。

- 公式サイト**URL**：https://www.hirokyou.co.jp/netmoral/

≪本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先≫

広教　ITソリューション事業部
（広島県教科用図書販売株式会社）
TEL：082-291-1088
E-mail：info-hiroshima@hirokyou.co.jp